

地球よ、なあ、地球！

地球よ、なあ、地球！

お前さんも、いよいよ後期高齢者だな

永いこと、人間と言う、

我儘な息子や娘たちの面倒を見て来て

身も心もボロボロだ

頭が良い彼らは、心地よく生きようとして

いろんな工夫を凝らし

人力を省いて、エネルギー源を見つけ出し

その結果は、地球が傷だらけになった

掘尽くされた炭鉱のイメージだ

寒い極地の氷も解けだし

熱帯の海も熱を出し、汗のかき方も狂っている

潮流も変化し、大気の移動も異常だ

血圧も上がり、血流も滞りがちだ

昔は「中気」とも「中風」とも言っていた

今は脳梗塞などと洒落て呼ぶ

地球よ

律儀なお前さんは

まあるい自分の体に生態系というけじめを付けて

いろんな命を守って来た

それもどうやら限界だ

Co₂ どころか、地中奥深く隠しておいた放射能まで

ほじくり出されるに至っては、当にお手上げ状態だ

それに骨粗鬆症のような地殻変動も起き始め

震えや、身ぶるいも激しくなった

そんなお前さんを、津波だの、豪雨などが水浸しにしている

人間は七十七歳になると、国が敬老のお祝いをしてくれる

お前さんは誰にも感謝もされず、ただ使われっ放しだ

宇宙に無数に散らばった星の一つなのに

たまたま乗った人間と言う生命体のお陰で

食い散らかされ、寿命を縮めている

無数の太陽系の発生・消滅のルールに従い

お前さんもやがて爆発し、粉々に吹き飛ばすまで

その老身に鞭打たねばなるまい

その身悶えが、天災となって、地球全体に広がって行く

しかし最期には、お前さんを苦しめて来た生き物は居なくなる

身軽になって、一生を終わらせられるのだ

なあ、地球よ

お互いに気分良く生き続けたいと願いながら

生きる事の苦しみを招び寄せているな

若い頃、瑞々しく繁茂した密林に

猿のように素朴な人間たちが居た頃が

お前さんの楽園だったのかもしれない

なあ、後期高齢者の地球よ

後期高齢者の人間の一人として

ここに心から親愛の挨拶を送る

(2012. 7. 16)